

第 2 回大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会議事概要

開催日時	令和 3 年 7 月 20 日（火）14 時 00 分～16 時 40 分
開催場所	大阪狭山市役所 3F 第一会議室
出席者	上甫木委員、久委員、金谷委員、山口委員、吾妻委員、菊屋委員、中嶋委員、 疋田委員、松本委員、宮下委員、秋元委員、芝辻委員、三崎委員、藤原委員、 （大塚委員：途中出席）
欠席者	0 名
ゲスト スピーカー	大阪府職員（スマートシティ戦略部）
事務局	堀井副市長、政策推進部長、総務部長、健康福祉部長、都市整備部長、市民生活部長、教育部長、政策推進部理事、政策推進部企画 G 課長、企画 G 参事、 会計年度任用職員
傍聴者	2 名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 資料説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 1 回協議会の主な論点 (2) 今後の進め方 (3) 重点事業（9 事業）個票 (4) スマートシニアライフ事業 3. 意見交換 4. 本日のまとめ 5. 事務局からの連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議・WG キックオフイベントについて (2) その他（近畿大学との包括連携協定の締結ほか） 6. 閉会
資料	資料 1 第 1 回協議会の主な論点 資料 2 今後の進め方 資料 3 重点事業（9 事業）個票 資料 4 スマートシニアライフ事業 資料 5（1）キックオフイベントの概要：公園ウォークラリー 資料 5（2）キックオフイベントの概要：マルシェ

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
事務局	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回狭山ニュータウン地区再生連絡協議会を開催する。多忙のところ出席をいただき感謝申し上げます。 ・現在の出席者数は全委員15名中14名であり、過半数出席により当協議会の成立を報告申し上げます。 ・本日は、ゲストスピーカーとして大阪府スマートシティ戦略部から出席いただいている。資料4のスマートシニアライフ事業を説明いただく予定である。 ・ここから議長の会長に進行をお願いする。
会 長	
事務局	<p>・第1回協議会で、事務局から再生推進計画において、活性化指針の27の取組みを4つの施策に整理し、行政と住民、事業者それぞれの役割分担のロードマップの説明があった。その取組項目のうち、行政と住民と事業者が連携して進める重点事業を9つ抽出していた。</p> <p>・本日は、この9重点事業について、順次委員から意見を伺いたい。</p>
会 長	<p>2 資料説明</p> <p>・資料説明</p>
副会長	<p>3 意見交換</p> <p>・資料3の重点事業について1つずつ意見をいただきたい。まず、施策1-1「地域包括ケアシステムの構築」について「事業推進上の課題」「基本方針」「事業推進のための戦略」を中心に意見をいただきたい。</p> <p>・施策が縦割りで切られてしまっているため、意見を出しづらい。全体のストーリーがあった方が有機的に見えてくる。地域包括ケアシステムに関しては、働きたいというシニアの方々もおり、生活支援サービス部分を、例えばコミュニティビジネスという形で起業するような支援があれば、従来の介護事業者とは異なる新しい方々の参入ができてくる。そういう意味で、生きがいづくりと地域福祉を重ねることができることから、福祉は福祉で考えるのではなく、雇用や産業、起業支援という形をつないでいくことで幅が出てくる。</p> <p>・公園に関する施策も同様で、例えば、30～40代の女性の方々がカフェをやりたい場合、公園で月に1回でもカフェの実験ができれば、うまくいった際には、今度は空き店舗にちゃんとしたお店を持つように色々なものがつながり、展開し始める。</p> <p>・起業やビジネス起こしという面が少し弱い気がするため、シニアや若年層、特に若年女性層の起業支援を上手く組み入れることができるのではないかと期待しており、検討いただきたい。</p>
会 長	<p>・非常に大事な指摘である。これらの要素を頭の片隅に置きながら、各施策の課題や方針を考えていただきたい。</p>
委 員	<p>・地域包括ケアシステムについて、ニュータウンの再生推進計画という認識からすると、ニュータウンにとってどうなるかという視点では書かれてない。</p>

	<p>すべてにわたって一般論が書かれているという印象である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に書かれているのは、「令和3年度の取組み予定」で、「地域包括支援センター（ニュータウンサテライト）の充実」だけである。サテライトを核にしながらスマートシニアライフ事業等と合体をしながら、様々な形で高齢者が住みよいまちづくりを、どうニュータウンでやっていくかという絵を描かなければならない。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・何か具体的に指摘や方向性はあるか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の7月にニュータウンサテライトが開設されたが、本来は体制を整備しながら、ニュータウンを1つの生活圏域を担う包括支援センターにして、そこを拠点に、色々な地域の活動をしていくべきだと思う。 ・高齢化が進む中で、ニュータウンという1つの地域性の中で他の地域と異なる展開ができるのではないかというイメージである。 ・指摘いただいた部分をニュータウン固有の問題として、戦略1、2あるいはシンボルプロジェクトの検討の中で、少し深めていただければと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築については、既存の介護保険事業計画がある。ニュータウン固有の問題は、様々な面から教えていただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・介護や医療以外の部分で、どう民間と連携して補完していくかが重要であり、狭山ニュータウンにふさわしい仕組みづくりについて幅広く考えることがよい。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策1-2「ニーズの多様化に対応した公園の再整備と活用」と1-3「緑のネットワーク（回廊）の形成」が類似しているため、一括して意見を伺いたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策1-2の事業推進上の課題に関して、広い視点から担い手の確保が重要ということだが、公園の草引きや掃除等を各地域の自治会や団体が整備をしているという事例もある一方で、それも難しいような状況もある。 ・マルシェに関しては、住民自らが自分ごととして、10月の開始に向けて進めている事業であり、事業を通じて担い手を増やしたいという思いもある。 ・しかし、担い手の確保は自治会も含めて難しいところがあり、行政すべてにわたる部分に、この問題が課題として残っているので、そこは視点からは抜け落ちないようにやっていただきたい。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の再整備や活用は場所によって特徴が異なるため、地域の人と一緒に、各公園や緑地毎に魅力と課題を吸い上げると方向が見えやすくなると感じた。場所の魅力や課題の読み取りをやると、このニュータウンの公園や緑地らしい取組みというのが出来てくるため、そこをしっかりとやっていただきたい。みどりのネットワークも同様である。 ・ウォークラリーとかマルシェというのは、地域の人々がつながる1つのきっかけになることが非常に大切であるので、ニュータウンで色々な活動をしている人がマルシェや公園に出てきて、いろんな交流が生まれるような仕掛けをぜひやっていただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に公園はあるが、だいたい自分の家の周りの公園は知っているけど、少

副会長	<p>し離れたら分からないという実態がある。今回、公園の使い勝手等を一緒に見て回って、色々な意見が出ていたが、自分たちの公園として、例えば自分たちに合う名前を付けたり、自分たちの公園だという意識を持ってやっというということも、今回のイベントをきっかけにということが元々の発想にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園で出店することが、起業の社会実験になるという話をしたのは、町中とニュータウンの一番の大きな違いの1つが、ニュータウンには安く借りられるところがほとんどなく、借りれるとしても、近隣センター地区の一定の家賃のところしかないと、何か始めるにはハードルが高い。それでは、どこで実験的なハードルが低い出店ができるかという公園が1つのポイントだと思っている。公園は、憩いの施設とか、緑を楽しむ施設として考えるのではなく、安くて何かできるスペースであると捉えると、この出店というのは1つの可能性としてある。 ある市の公園活用の事例では、発案者が最初の自治会の集まりで企画を伝えた際に、自治会役員から自治会活動をしっかりとやって信用を得てからではないと協力できないと言われたという。二の足は踏んだが、思い切って一歩を踏み出した結果、自治会と良好な関係ができてきたとのことである。やる気のある30代、40代の方がやりたいことをやれる環境を地域の中で作れば、こういう方がどんどん出てくると思うため、留意していただければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 役員が自治会活動をしっかりやってからと言ったのは、自治会の役員候補が少ないからだと思う。やる気のある人だから、手伝ってほしいという気持ちが先走ったのであって、悪気はないと思う。最終的にコミュニケーションも取れて、上手く行ったとのことなので、我々もイベント等がきっかけとなって上手く循環していきたいと思った。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> 施策2-1「地区の魅力情報の発信」について意見をいただきたい。 再生という意味で、子育て世代の方が住みやすいまちであることをアピールしていくことが大切である。大阪狭山市は中学校まで給食があるが、南大阪で実施している市町村は、ほかには和泉市ぐらいしかない。 また、粗大ごみにシールを貼って家の前に置いておいたら持って帰ってくれるという住みやすさももっとアピールできる。 ニュータウンでアピールできる点は、例えば災害に強い。ニュータウンはなだらかな山の上であり、雨は下へ流れていくため水害になることもないし、法面が崩れることもほぼない。若者や子育て世代の方が住むに当たって他の市と比較するときに、災害に強いまちと子育てしやすいことをアピールしていただきたい。 ニュータウンの区画は大きいため、半分に割って販売されている不動産業者も多く、買いやすい値段になっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ニュータウンは近所付き合いがきちんとできており、地域力も非常に強い土地柄である。一方で、近所付き合いに批判的な人もいてるかと思うが、それ以

	<p>外にも何かを求めている人もいだろうから魅力発信の1つとして打ち出すべきではないか。</p>
<p>会 長 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのターゲットとなるのは、どういう方なのか。 ・困ったことがあればすぐ声を掛けてくれる、道を歩いているときに「こんにちは」と言ってくれる人などである。
<p>会 長 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に通じるような言い方をうまく考えていかないといけない。 ・ニュータウンは放課後児童会の待機児童がゼロという点も PR していったらよい。本当に子育てには力を入れており、例えば給食に、ご飯を週2回か3回出す取組みも大阪狭山市が初めてであり、アレルギーのパン粉を米粉にして、アレルギー体質の子どもたちに対応したのも大阪狭山市が非常に早かった。子どもに関して、大阪狭山市は非常に力を入れている。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出産時から「プレママ・プレパパ ほっとカフェ」という非常にきめ細かなサポートを行っている。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦タクシーチケットというサービスもある。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の若い人に伝わる言葉をきっちり吸い上げていくというのが非常に重要である。具体的なその魅力情報の収集方法も検討いただきたい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウン情報のポータルサイトの立ち上げに何年も掛かるのは残念である。できるだけ早く立ち上げていただくと前に進むのではないかと感じている。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトは、令和4年から令和7年の間で立ち上げを検討するイメージである。お金もマンパワーも必要になるため、どんな形で立ち上げるかというところから考えていきたい。どういう形でポータルサイトを立ち上げると、効果的かつ効率的なのかを考えた上で、取り組んでいきたい。事例紹介や技術の面などで支援いただければありがたい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発信することのみならず、質問を書いて回答が得られるような掲示板的なツールもあったらよい。フェイスブックは年齢層が高くて若い人は見ないため、インスタグラムの活用が必要である。 ・若い人にも敷居が高くない方法が必要であり、情報発信のホームページのところに意見を書かれても、チェックを入れてから書くという文言が入っていた。意地悪な意味でないのは分かっているが、一市民としてはハードルが高いと感じた。
<p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックは友達同士の内々のコミュニケーションツールで、Instagramは検索をして新しい情報をキャッチするための道具である。あえてフェイスブックやポータルサイトを作らなくても、Instagramを情報発信や検索、それに関する住民参加の道具として上手く使ってほしい。
<p>堀井副市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ議論をいただき感謝する。市の強みを職員自身が本当はもっと認識しないといけない。当たり前だと思っている中学校給食などを、市民や市外の人の視点を意識して発信していかなければならない。 ・時代がどんどん変わってきている。昔の公園の使い道は子育ての場であったが、今は何かを始めやすくすることができる場や居場所などに活用できる場

会 長	<p>であり、その情報を発信していくことが大切だと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策2-2「空き家対策の推進」と3-1「地区内の空きスペースの有効活用」について意見をお願いしたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は富田林市も堺市も減っており、南大阪では大阪狭山市だけが増えているという状況で、空き家や空き店舗で何が課題かというところ商店街の空き店舗が中心課題だと聞いた。値段が高いのか、家主が貸す気がないのか、どれだけ活用したいのかという各事情があるため、本当に利活用できそうな所が何か所ぐらいで、値段はどのぐらいで、本当に使わせてもらえるのかが重要である。 ・また、それほど人口が減ってない戸建て住宅地の中でどういうことを空き家に求めていくのかをしっかりと議論いただいた上で取組みを行われた方がよい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウン内の空き家は、老朽化しても放置されず、持主不明は皆無に等しい。子どもがニュータウンに戻ってこないならば、不動産屋に売却して、敷地を分割して買いやすくするところが増えている。このため、一般的に言われる空き家という悪いイメージは少し薄い。個人の住宅である空き家の活用方法というのは難しいと感じる。 ・店舗の空きスペースは、活用方法は色々と考えていかなければならないが、これだけの人口のニュータウン内だけでも経営が成り立つかというところと苦しい面がある。スーパーも大型店舗があるため、空きスペースの活用で経営が成り立つのかというところが大きな課題である。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市では、空き家は住居利用が多いと思うが、郊外地では起業する人のスペースとして使われるケースが非常に多い。現状が十分に見えていないため、ニュータウンの空き家をそのまま住居として継承するのか、それ以外の可能性もあるのかを見据えておく必要がある。 ・空きスペースについては、次の利用希望者とのマッチングがあるため、利用希望者がどう使いたいかというふうなことも踏まえながら検討していくことが大事だと分かる。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を起業の場所に設定することについては、「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」の中のワーキングのメンバーで、今後、検討するような方向で進めていきたいというアイデアもある。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗が各月にいくらの家賃で貸してもらえるのか。あるいは、空き家もどれだけが民間の流通で回っているのかなど、実態や調査結果があれば、具体的なアイデアも出てくるので、物件情報を教えていただきたい。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策2-3「公共交通網の再整備」はいかがか。施策3-2の「新たなサービス機能の誘導」や資料4のスマートシニアライフの分野とも関係するため、合わせてお伺いしたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・南海バスでは、利用促進策の一環で、バスの乗り方教室のような取組みを数回実施した。バスにどうやって乗ればよいのか、ベビーカーのまま乗車できるのか、車いすの場合はどうか等について、営業所やイベントにバスを出し

委員	<p>て説明するなど取り組んでいるため、紹介申し上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT 技術を活用しないサービス機能ということは大事である。コロナのワクチン予約が大変だったように、一定の年齢の方にはパソコンを用いて情報を利用することのハードルが高いということが分かった。 住民の中には、ICT による色々な情報技術、情報公開技術の恩恵に、全くあずかることができない層が必ずいることは認識しておく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大阪狭山市は、高野線沿線というイメージだけではなく、泉北沿線にも含まれる点もアピールになる。公共交通網の整備では、金剛からだけではなく、泉ヶ丘からも充実した公共交通網の整備ができればよい。 バスが現在でも昼間に10分に1本近く走っており、交通の便の良い場所であることもアピールの一環になると思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市の循環バスについては一切触れてないが、全体の中で循環バスをどう位置付けていくのか項目に入れるべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 交通対策に関して都市計画マスタープランを2年かけて作っており、泉ヶ丘への交通網整備の必要性については市も同感である。 循環バスに限らず、市外のどの方面に行きたいかのアンケートの結果では、泉ヶ丘と北野田が相当多かった。 近畿大学病院が泉ヶ丘に移った後の便も含めて、相当大きな議論であるため、こちらの協議会での取り扱いは割愛することを説明したが、どういうふうに使いたいのか、どのように希望するのかは大いに議論いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 現在、タクシー利用に関しては、アプリが主流になってきているが、高齢者は、まだまだ電話がほとんどである。アプリをダウンロードしていただき、タクシーの呼び方の教室を自治会単位で色々やらせていただいている。ママサポートタクシーでは、妊婦の方には登録いただければ、何かあって病院と運転手が連絡を取って移送でき、サポートに必要なセットの全部が車に積んでいる。ママサポートタクシーと貼っているのは、すべて助産師の研修を受けた乗務員であり、安心して病院まで行っていただける。 認知症のサポーターについても、何年か前から研修を受けている。また、女性の乗務員が約50名おり、営業所の中に独自で託児所を設けて、子どもを預けて業務できるので、色々新鮮な取組みを進めている。 子ども110番を実施しており、タクシーに貼っている。交通安全運動では、犯罪に巻き込まれたら気軽にタクシー止めてほしいということも伝えたい。タクシーの乗車体験についても企画できるようになった。タクシーを持って行って、子どもの制服を作ったら大盛況だった。このような取組みで公共交通を身近に感じていただきたいため、努力していきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 新たなサービス機能の充実に関して、気になるころはあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信に関して、大阪狭山市の情報を乗車中だけでもお客様に発信できればと思う。それを活用して幅が広がり、地域が活性化すれば、最終的に公共交通に戻ってくる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 最後に3-3「にぎわいのある商業・サービスゾーン」について意見を伺いた

委員	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に気になる点がある。交通網の隙間を埋める形での地域の互助での移動支援は素晴らしいことだが、どこかに頼るといふ仕掛けが必要であり、自動運転のような取組みがない点が弱いと感じる。 ・また、商業地域と色々な場所が活性化するためには、色々な人が動ける交通手段が必要で、関連しながら取り組まないと活性化につながらない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・府営住宅の土地利用に関する議論の中で、簡略的に住宅にして狭山ニュータウンの人口を増やすだけでいいのか、地区センターをどう生かしていくのかを考えた方がよい。例えば、ショッピングセンターのための駐車場、スーパー、公園といった用途も可能性としてはあり、大きく考えて、何が課題で何になるかを明確にしたほうが良い。本当に住宅が必要なのか、商業施設を持ってくれば都市計画を変えなければならない。全体を見て考えた方がよいと感じた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に素晴らしいテーマをいただいた。にぎわいゾーンのあり方を考える上で、府営住宅の跡地をどうするかということも少し絡めながら準備しておく必要がある。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいイコール消費者を集めるという考え方をシフトさせることによって、いろんなアイデアが出てくる可能性がある。例えば、千里ニュータウンの新千里東町の近隣センターの中に、もう20年ほど前だが、東町まちかど広場という交流スペースを地域の方々が作られた。そこは、交流スペースに集まり、帰りに買い物して帰る場となった。商業施設ではなくて、交流スペースがキーテナント的なトリガーの役割をするという事例である。違う形の集客施設のあり方も可能であるため、幅を広く考える方が面白い。 ・スマートシニアライフ事業は、民間ベースでやっている事業について、シニアに限らず地域の方々の情報共有のプラットフォームとして作られているものがあり、住民全体のプラットフォームと、スマートシニアライフ事業をどうつなぐかという観点もぜひ持ってほしい。 ・コンテンツの魅力をいかに高めていくかに関しては、行政が事業者を募集するだけではなく、既存の民間ベースの面白いコンテンツもあるため、それらにリンケージを張っていくというような観点である。人気あるコンテンツをスマートシニアライフ事業にリンクさせたり、住民同士の情報交換のプラットフォームにリンクさせるなど、より魅力的に面白く、楽しく使えるような工夫をこれからも一緒に考えていきたい。
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・リンケージをいろいろと張るといふ指摘はその通りであり、まさに進めようとしている。
会長	<p>4 本日のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体のつながりをしっかりと視野に入れて取り組む必要があるという観点で、様々な意見が出た。 ・施策1-1「地域包括ケアシステムの構築」については、ニュータウン特性をしっかり踏まえながら取り組む必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・施策1-2「ニーズの多様化に対応した公園の再整備と活用」や施策1-3「緑のネットワーク（回廊）の形成」での公園は、色々なチャレンジの場であり、色々な人が起業する、あるいはつながる視点からの活用を考えていく必要がある。 ・施策2-1「地区の魅力発信」に関しては、若い世代に対する情報発信、大阪狭山市の様々な魅力を伝えていくことが重要であり、若者が利用するInstagramのように、若い人が入りやすいものや、又は情報提供だけではなく、掲示板のようなQ&Aの部分も必要である。 ・施策2-2「空き家対策の推進」と施策3-1「地区内の空きスペースの有効活用」に関しては、そもそもの実態を共有し、具体的な利用者ニーズを把握することをやらなければならない。 ・施策2-3「公共交通網の再整備」は、循環バス等も加えて、市と住民と事業者の三者で、大阪狭山市内だけではなく、隣接の堺市とのつながりなどのあり方を検討する必要がある。 ・施策3-2「新たなサービスの機能の誘導」は、色々なシニアという視点だけではなく、色々な施策、コンテンツとのつながりといった考え方を視野に入れていく必要がある。 ・施策3-3「にぎわいのある商業・サービスゾーンの形成」は、これも幅広く考えることで、府営住宅の計画と今後のあり方を絡めながら考える。人を集めることに関しても、消費者だけではなく、起業家であったり、そこを楽しむ人たちの交流のように、視野を広げてにぎわいづくりを考えていく必要がある。 <p>5 事務局からの連絡</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・キックオフイベントは、公園ウォークラリーとマルシェである。まちづくりの担い手の輪が広がるように、多世代が参画する地域コミュニティづくりをテーマ・コンセプトとして、10月30日（土）に開催予定。 ・6月29日に近畿大学と本市との包括連携協定の締結式を行った。当協定により、移転後のまちづくりの協議をさらに進めていく。この協議会では、近畿大学跡地の議論はできないが、公開できる情報は適宜共有する。近畿大学病院や帝塚山学院大学跡地について意見があれば、別途個別にでも、いつでも寄せていただきたい。皆様からいただいたご意見は、市で織り込んで地権者等と協議・調整をしていく。
堀井副市長	<p>6. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い意見、提言賜り感謝する。 ・狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議の皆様には、10月にイベントを企画していただいている。感謝申し上げます。 ・市民の方に見せていくという形が非常に大切だと思う。今後も引き続き幅広い意見をいただき、活性化指針の実施計画として作り上げたい。
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回協議会は、10月4日（月）午後4時からである。 ・以上をもって、第2回協議会を閉会する。 （終了）